

平成 27 年度 徳倉小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会まとめ

6月11日(木)に開催された「徳倉小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話983-2708)

ご参加ありがとうございました。



【当日参加団体一覧】

団体名		
幸原町自治会	北上地区地域包括支援センター	北中学校
徳倉第1町内会	保護司会	北中学校PTA
徳倉第2町内会	徳倉幼稚園	子ども会連合会
徳倉第3町内会	徳倉幼稚園PTA	幸原町子ども会
徳倉第4町内会	徳倉小学校	徳倉第1子ども会
民生委員・児童委員	徳倉小学校支援地域本部	エコリーダー
菊寿会	北上中学校	環境美化推進員会

※当日参加者 24 名

【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供 & ご協力のお願い～

- 徳倉幼稚園：今年度より3歳児保育開始。旧公民館を送迎用車の駐車場として、園まで歩くことで親子のコミュニケーションと体力作りを図っている。見守ってほしい。
- 徳倉幼稚園PTA：リサイクルで子どもの為の活動費を捻出している。ミックス古紙やテトラマークがついた牛乳パック等も回収中。ぜひ幼稚園に持参して下さい。
- 徳倉第2町内会：引きこもりをなくし、地域の人と知り合える場として、「木曜サロン」をナルクと一緒に開催。町内外の方も含め、多くの方に参加してほしい。
- エコリーダー：幸原簡易水道組合の三島市水道への統合計画が、本年度より市水道統合準備室として発動。災害復旧の折には災害緊急給水補給等、復興にご協力ください。

<会場アンケート>
話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



【テーマ別会議】

会場アンケートの結果	
① 子どもの安心・安全対策で、もっとできることを考えよう！	6人
② あいさつを活発にする取り組みを始めよう！	6人
③ 各組での高齢者の見守り・防災体制を考えよう！	9人
④ その他	0人

※アンケートの結果、テーマ①と③に分かれ話し合いました。
(次頁以降「テーマ別会議まとめ」参照)

参加者の発言内容を「現状・お困りごと」と、課題解決に向けた「解決策・アイデア」に分類しました。

テーマ①

「子どもの安心・安全対策で、もっとできることを考えよう！」

今回の話し合いは、「小学生」を対象とした安心・安全対策を考えることにし、不審者対策を中心に話し合いが行われました。

	現状・お困りごと	解決策・アイデア
通学路の安全点検	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路（道路設備）の安全点検。 ・通学路のチェック（ガードレール、凸凹、水たまり他）をしている。 ・道路ミラーの増設が必要。 ・ごみ、落ち葉拾い。良い環境へ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、歩いてチェックをし、問題があれば自治会長を通じて申請し、直してもらっている。
不審者対策	<p>かけこみ 110 番の活用・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもは不審者に遭遇した時、どうしたら良いのか知っているのか？ ・子ども会では、かけこみ 110 番の登録家庭を巡回。 ・かけこみ 110 番の認識はできているのか？ ・できるだけかけこむことができる場所が数多くないと意味がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●かけこみ 110 番が、自分の通学路のどこにあるのか、子ども達に頻繁に伝えないといけない。
	<p>不審者情報の通報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校では不審者が出た場合は、即警察へ連絡するよう指導しているが、子どもにとっては難しい。また、親が仕事で帰りが遅い場合、タイムラグもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンポイントではなく、全体的に見ていかないとクリアできない問題。
	<p>親同士の情報ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アパート間（ママ友だち）の交流がある。「〇〇ちゃんがいたずらしてたよ」などの連絡が入る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ママ達の情報ネットワークはすごい。LINE アプリを使って情報交換。何かあるとすぐに情報が入り、対応できる。
	<p>仲間作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域には子どもと接することを楽しみにしているおばさん達は多い。助けてあげたいと思っている。 ●子どもは顔見知りの方だと安心できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ママ友のネットワークをもう少し周囲にいるおばさん達にも広げて、親がいない時など頼りにしてほしいので、普段から仲良くできるといい。 ●普段から話をしたり、顔合わせをしてほしい。
<p>パトロールの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スクールガードは、地域の子どものことを色々知っている。普段から子どもへの声かけをしてくれ、ありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親もスクールガードを見習ってみようと思う。 ●下校時間に合わせて、買い物や散歩途中の「ながらパトロール」はいい。 ・各町内で見守り班を立ち上げる。 	

	現状・お困りごと	解決策・アイデア
「地域全員で見守っている」という地域の意思表示	<ul style="list-style-type: none"> ●犯罪をしにくい環境を作る。抑止効果UP。 ・声かけ運動のバッジは小さすぎて見えなかった。 ・腕章などは犯罪者が盗んだり偽造したりする恐れもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内の掲示板を利用して、防犯や不審者の啓発ポスターや標語を掲示する。 ●腕章、バッジ等を活用し、地域全員で見守っているというイメージを作る。 ・地域みんなで何かを身に着けるのであれば、大きくて皆に分かりやすい物がいい。(ネームプレート等) ・小学生は小さいバッジより、色や服装などの単純な物が見て分かりやすい。 ●腕章など目印に頼りすぎるのも良くない。顔合わせ・仲間作りをしながら推進していく必要がある。
その他 防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの見守り、育成(徳倉キッズ) ・小学校主催で、交通安全リーダーと語る会を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月に親子100人を対象に、小学校に1泊して防犯・防災対策について学ぶ体験型のイベントを計画中。 ・子ども達から危険な川、暗がり、不審者が出そうな危険な場所を聞き、市にお願いして、暗く生い茂った木を切ってもらい改善した。

今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇下校時間に合わせた買い物や散歩途中の「ながらパトロール」を普及させよう！
- ◇啓発ポスターの掲示や、分かりやすいパトロールの目印(腕章、ネームプレート等)を身に付けるなどして、「地域全員で見守っている」という地域の意思表示を示し、犯罪者を寄せ付けないようにしよう！
- ◇地域の意思表示の推進とともに仲間作り・子どもとの顔合わせが大切。顔見知りのネットワークを広げていこう！



今回の話し合いで出された意見を参考にして、
各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね！

テーマ③

「各組での高齢者の見守り・防災体制を考えよう！」

主に「高齢者の把握と見守り方法」と、「高齢者自身の防災に対する意識改善」について話し合いが進みました。

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
高齢者・住人の把握と見守り方法	両隣のコミュニケーションを図る	<ul style="list-style-type: none"> ●住んでいる人が、分からない。 ・一括借り上げのアパートが多く、オーナーでさえ誰が住んでいるのか分からない。 ・各組でのコミュニケーションが大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害がある前に、日ごろより両隣の家族とのコミュニケーションを取る。
	高齢者の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の情報がほしい。 ●一番情報を持っているのは高齢者。 	<ul style="list-style-type: none"> ●老人は時間に余裕がある。もっと活用してけるとよい。
	子どもの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞、ヤクルト配達等の業者からの情報提供もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもにも、ご近所の方の様子を気にかけることを教える。(郵便物や新聞が溜まっていたら、大人に伝える等)
	行政の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の家だからこそ、話さない関わらないという現状もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政からの情報も必要。
	台帳整備	<ul style="list-style-type: none"> ・台帳整備が大事。 	
	情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・ご近所にどういう方が住んでいるのか分からない。情報公開をしてほしい。 ・助けてもらおうと思う人は情報公開が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ●本人に情報公開の意思確認を行う。 ●助けてほしくない人、情報公開したくない人はせめて黄色いハンカチをあげる。
	民生委員との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が困っていないと、包括支援センターでは助けられない 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会と民生委員との連携が大事。
	あいさつ運動	<ul style="list-style-type: none"> ●防災体制よりも、まずは見守り体制をしっかりさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●そのためには、お互いを知りコミュニケーションを取ることを。 ●あいさつ運動。大人もあいさつしよう。
	適した役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・町内で防災に関する役割分担を決めても、組長への当て職なので、現実には役に立たない。 ・東京に通勤している人など、災害時にいない人は、役職についていても頼れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●組の中でコミュニケーションをとり、「誰がどういう暮らしか」ということをお互いが知り、順番でやるのではなく、適任者をお願いするというような役割分担にする。

	現状・お困りごと	解決策・アイデア
高齢者の意識改善 ↓ 自助を高める	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者に、災害時の取り組み方を日ごろから周知し、しっかり把握してもらおう。 ●高齢者自身で身を守る方法を知ってもらおう。 <ul style="list-style-type: none"> ・防災の意識を皆に植えこむ。 ・平素より訓練、行事に対し関心と参加の意識をもってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会、民生委員から教えてほしい。 ●回覧版を活用。回覧版などでの防災の意識レベルをあげる。 ・高齢を意識しないのが良いのはいいか。
防災訓練の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の内容を知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施を年1回でなく、四半期ごとに行う（小・中学生の参加）。
その他（水道）	<ul style="list-style-type: none"> ・水といえども料金が有るものなので、災害時の地域の協力がどれほど得られるかが不安。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進都市（都会ハイテクビル）では水道メーターをコンピューター管理して、居住者の生存状態を見るシステムもある。

今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇地域の情報をたくさん持っている高齢者の活用や、日頃のあいさつ、両隣とのコミュニケーションを活発にし、地域の情報収集・情報把握に取り組もう！
- ◇コミュニケーションをとり隣近所の情報を把握した上で、あて職などではなく災害時の状況に適した役割分担の整った体制に向け見直していこう！
- ◇高齢者自身の自助力と防災意識を高める必要がある。自治会と民生委員が連携する等して、災害時の対処法の周知や高齢者の防災意識改善に取り組もう！

今回の話し合いで出された意見を参考にして、
各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね！



